

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	38463
事業名	仮称)第二児童相談所整備費					
評価担当課	所 属	子)児童相談所 地域連携課			電話番号	011-622-8620
施策名	子どもの権利の保障が進み、子ども一人一人が自分らしく伸び伸び					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景(現在の状況、社会的課題)	現在の児童相談所は開設から30年が経過しており、虐待・相談対応件数が増加傾向にある中で、面談室や職員の執務スペース不足に加え、一時保護需要の高まりに対応できない状態が生じている。 改正児童福祉法施行令でも「管轄区域における人口が、基本としておおむね50万人以下であること」が記載されており、アクセス性の向上や迅速な意思決定を実現するためにも、新たな拠点の整備が必要になっている。
	事業内容(何を実施し)	上記の課題に対応するため、一時保護所を併設した第二児童相談所を整備する。 また、第二児童相談所開設までの一時保護所や執務スペースの足に対応するため、仮設一時保護所等の運営を行う。
	どのような状態にしたい(状態を維持したい)	専門的な相談支援拠点を増設することで、児童相談体制の強化につなげる。
	他都市の状況	児童相談所を複数設置している政令市は、横浜市(4か所)、川崎市(3か所)、名古屋市(3か所)、京都市(2か所)、大阪市(3か所) ※大阪市では、4か所目を開設予定。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☒ 対象外

令和4年度決算額	506,999 千円	うち特定財源	371,177 千円	正規職員業務量	0.4 人工
令和5年度予算額	200,000 千円	うち特定財源	91,528 千円	正規職員業務量	2 人工
令和5年度決算額	140,034 千円	うち特定財源	34,764 千円	正規職員業務量	2 人工
令和6年度予算額	763,000 千円	うち特定財源	602,644 千円	正規職員業務量	2.5 人工

指標	アウトプット活動指標1	(仮称)第二児童相談所の着工				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		実施設計	着工	着工	着工	竣工・供用開始	運用
	↓						
	アウトカム成果指標1					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	第二児童相談所は、令和5年10月に着工し、予定どおり建築を進めているところ。令和7年7月に竣工、秋頃に供用開始することを指標として設定している。					
	アウトプット活動指標2	仮設一時保護所の開設				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		運営	運営	運営	運営	運営終了	
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	第二児童相談所開設までの間、仮設の一時保護所を設置・運営することを指標として設定している。今年度は、昨年度から引き続き運営を続ける予定。					

今年度の見直し内容	なし
来年度以降の方向性	現在建設している第二児童相談所については、令和7年7月に竣工し、秋頃から供用開始の予定である。 これに伴い、仮設の一時保護所については運営を終了する予定。